

お客様各位

## 「PUSHLOG Viewer」機能追加と

### ゲートウェイのファームウェアバージョンアップについて

PUSHLOG をご利用いただき、誠にありがとうございます。

ご使用いただいております PUSHLOG Viewer に下記の機能を追加します。

また、合わせて PUSHLOG ゲートウェイのファームウェアをバージョンアップします。

下記内容をご確認いただき、追加機能をご使用いただくお客様は、ファームウェアのバージョンアップを実施していただきますよう、お願いいたします。

#### <追加機能>

- ・オプションライセンスのキャンセル(使用中断)
- ・PUSHLOG Viewer によるファームウェアアップデート
- ・ユーザアラームの上限値、下限値に小数点付き数値を設定可能
- ・WebAPI 機能追加(リアルタイムデータ(高速トリガ)を取得、アラームレコーダトリガ履歴を取得、アラームレコーダトリガ履歴の詳細を取得)

#### <ゲートウェイファームウェアのバージョンアップ>

- ・PUSHLOG Viewer によるファームウェアアップデート対応  
※次回以降のバージョンアップで使用可能になります。今回の Ver2.2.0 へのバージョンアップはアップデートツール(PC)によるバージョンアップが必要です。

#### <追加機能の内容>

次ページ以降に概要を記載しますのでご確認ください。

#### <変更実施日時>

2021年2月19日(金)18時~21時(予定)

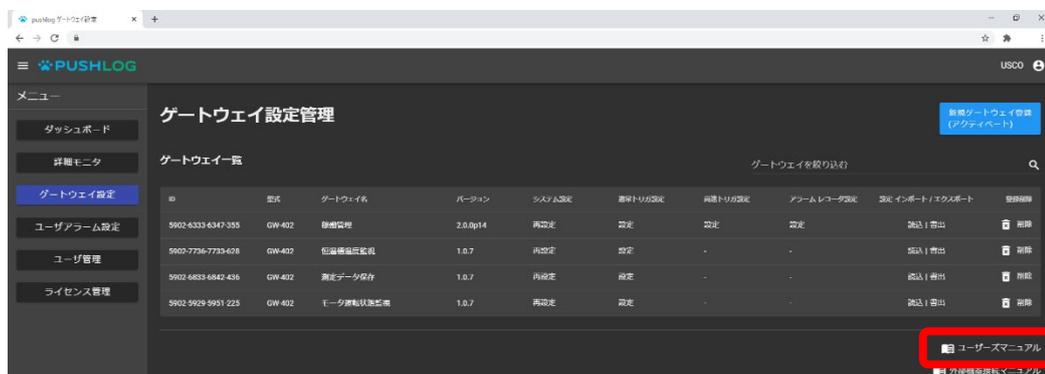
#### <注意事項>

データ収集は、変更の前後も継続して実行されます。変更にあたり、ユーザ様で必要な作業はありません。変更時に一時的に PUSHLOG Viewer にアクセスできない状態が発生する可能性があります。アクセスできない場合は、しばらく時間を置いてから、再度 PUSHLOG Viewer にアクセスしていただきますよう、お願いいたします。

## 最新版ユーザズマニュアルの確認方法

追加機能の詳細や操作方法については、ユーザズマニュアルをご確認ください。

最新のユーザズマニュアルは PUSHLOG Viewer のゲートウェイ設定画面で表示することができます。



## 追加機能の内容

### ① オプションライセンスのキャンセル(使用中断)

使用中のオプションライセンスのライセンスキーをキャンセルして使用しない状態にできます。

キャンセルしたライセンスキーは、ライセンス登録操作することで再度使用することができます。

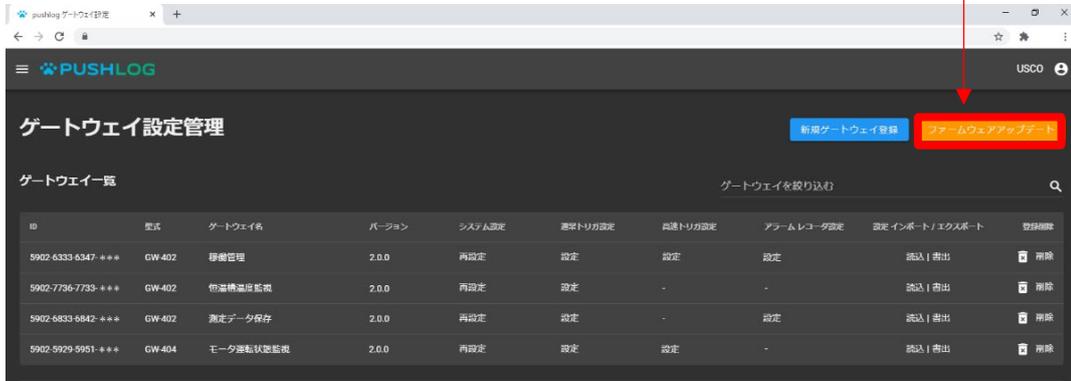


### ② PUSHLOG Viewer によるファームウェアアップデート

PUSHLOG Viewer を使用してクラウドからファームウェアをアップデートします。

- ・今回リリースする Ver2.2.0 へのバージョンアップはアップデートツール(PC)を使用してバージョンアップする必要があります。手順については、4 ページ以降を参照してください。
- ・ゲートウェイのファームウェアを Ver2.2.0 にバージョンアップしておくことで、次回以降のファームウェアバージョンアップ時に、アップデートツール(PC)を使用せずに、クラウドからゲートウェイのファームウェアをアップデートできるようになります。Ver2.2.0 へのバージョンアップを実施していただきますよう、お願いいたします。

※今回は PUSHLOG Viewer でファームウェアアップデートができないため、下図のボタンは灰色の表示になります。次回以降のファームウェアバージョンアップ時に、Ver2.2.0 以降のゲートウェイが登録されているときに、実行可能な状態(ボタンがオレンジ色)になります。



- ③ ユーザアラームの上限値、下限値に小数点付き数値を設定可能  
 収集対象デバイスのアラーム設定の下限値、上限値に小数点付きの数値を設定できます。



#### ④ WebAPI 機能追加

- ・リアルタイムデータ(高速トリガ)を取得  
 高速トリガ設定(最小 10 秒周期)で収集した最新のデータを取得します。
- ・アラームレコーダトリガ履歴を取得  
 アラームレコーダで収集したトリガ履歴の一覧を取得します。
- ・アラームレコーダトリガ履歴の詳細を取得  
 アラームレコーダのトリガ ID を指定して、トリガ発生前後データ履歴を取得します。  
 ※詳細については別途用意する WebAPI 資料をご参照ください。WebAPI 資料については、お問い合わせください。

## PUSHLOG ゲートウェイのファームウェアアップデート方法

### ファームウェアアップデートの注意事項

- ・Ver1.0.\*から Ver2.2.0 にバージョンアップするときは、ファームウェアのアップデート後、クラウドからゲートウェイにゲートウェイ設定を再送信します。  
**ゲートウェイ設定の再送信中に電源を OFF すると、次回起動時、再び設定再送信が実行されるため、データ収集しない状態になります。**  
**ファームウェアアップデートが完了するとデータ収集を再開しますので、電源を OFF せずお待ちください。**
- ・なお、ゲートウェイ設定再送信中は、一時的にステータス LED が赤点灯しますが異常ではありません。
- ・ファームウェアのアップデート中はデータ収集が実行されませんのでご注意ください。  
アップデート完了後はアップデート前に収集したデータに続けてデータ収集が実行されます。

#### <バージョンアップ内容>

- ・PUSHLOG Viewer によるファームウェアアップデート対応  
※次回以降のバージョンアップで使用可能になります。今回の Ver2.2.0 へのバージョンアップはアップデートツール(PC)によるバージョンアップが必要です。

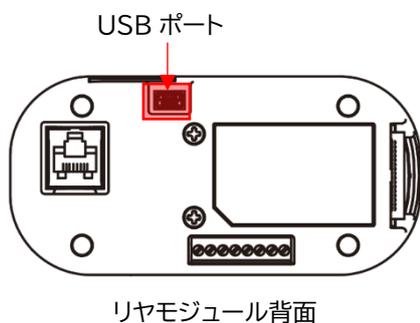
#### <アップデートツールおよびアップデートファイルのダウンロード手順>

- ① 下記 URL から zip ファイルをダウンロードしてください。  
<http://www.uip.usco.jp/ftp/20210219.zip>
- ② ファイルを PC のドライブに保存してください。
- ③ ダウンロードしたファイル(20210219.zip)を解凍(展開)してください。  
下記の 2 つのファイルが解凍先フォルダに作成されます。  
PushLogUpdateToolInst\_x64\_0.9.2.msi → アップデートツールのインストーラです。  
pushlog\_fw\_2.2.0.bin → ファームウェアのアップデート用ファイルです。

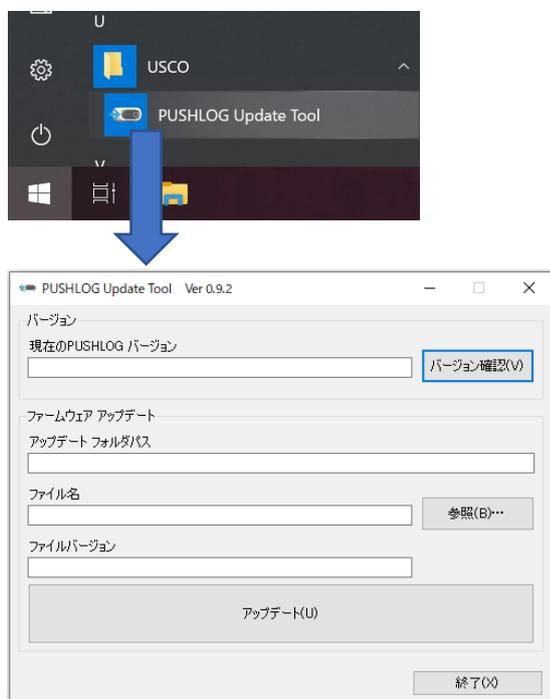
ファイルのダウンロードができないお客様は、当社までお問い合わせください。

<アップデート手順>

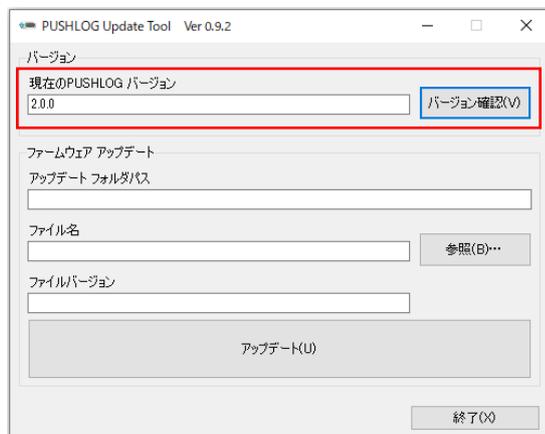
- ①ダウンロードしたインストーラ(PushLogUpdateToolInst\_x64.msi)を実行してください。  
アップデートツールがインストールされます(対応 OS は Windows10 です)。
- ②USB ケーブル(miniB)で PC とゲートウェイの USB ポート(下図)を接続します。



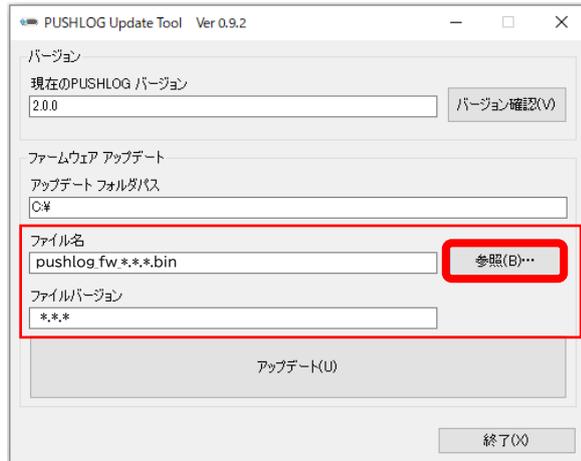
- ③アップデートツールを起動します。



- ④[バージョン確認(V)]をクリックすると、現在のファームウェアバージョンを確認できます。



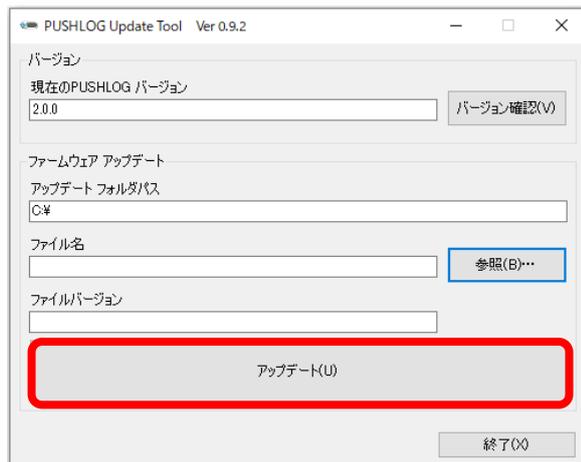
⑤[参照(B)]をクリックした後、[開く]画面で PC に保存したアップデートファイルを開きます。



[ファイルバージョン]に開いたファームウェアのファイルバージョンを表示します。

アップデートできるファームウェアのファイルバージョンは 2.2.0 以降です。未対応のファイルを開いたときは、[ファイルバージョン]は空欄の表示になります。

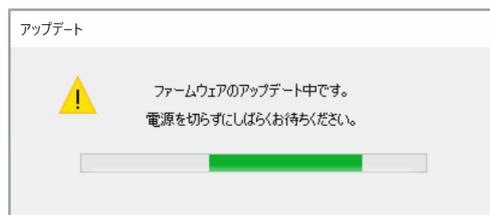
⑥ゲートウェイの電源が ON している状態で[アップデート(U)]をクリックします。



⑦下記の画面を表示したら[はい(Y)]をクリックします。

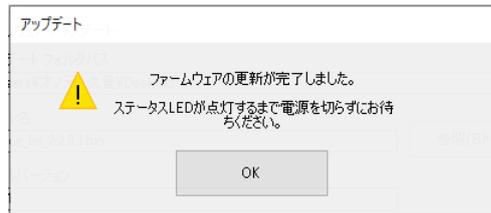


⑧下記の画面を表示している間(ファームウェアのアップデート中)はゲートウェイの電源を OFF しないでください。



⑨ ファームウェアのアップデートが完了すると下記の画面を表示します。

[OK]をクリックして、下記の画面を閉じてください。



<本件に関する問い合わせ先>

株式会社アスコ IoT 事業推進室 営業グループ

メールアドレス:[inf.uip@usco.jp](mailto:inf.uip@usco.jp)

電話:06-6210-2226

以上